

山口大学図書館報

Yamaguchi University  
Library Bulletin

LIBRARY  
NEWS

ISSN 0388-5569

July 2010  
No. 81

目 次

図書館探訪 ～私にとっての図書館～…………… 1	新入生オリエンテーション、ガイダンスの実施… 7
山東大学図書館を訪問して…………… 3	平成 21 年度図書館業務統計…………… 8
“ブックリサイクルコーナー”を開設しました！… 5	日経 NEEDS-FinancialQUEST …………… 10
宇部市立図書館との相互協力協定締結…… 6	本学関係教員著作寄贈図書・平成 22 年度図書館関係委員会名簿… 11
沖記念文庫の設置 …………… 6	会議・研修・人事・編集後記…………… 12

## 図書館探訪 ～私にとっての図書館～

山口大学図書館長 瀬 厚

私は図書館という建物が孕んでいる全ての要素が好きである。そこで私のささやかな図書館探訪の印象を記させて頂きたい。先ず紹介したいのは、北京大学の図書館である。それは壮麗な建築物（写真1）である。一度、足を踏み入れるや吹き抜けが創りだす広大な空間に圧倒さ



写真1. 北京大学図書館前で（向かって左側が徐勇  
北京大学教授、中央が筆者、右側が教え子の  
顧令儀・西安交通大学専任講師）

れる。数多の教員や学生が屯するなかで、そのことを全く意識させない空間設定の見事さ。その空間が醸し出す静謐さは、羨ましい限り。図書館にとって不可欠な静謐さの真髄を垣間見た思いだった。

その点では北京大学とそう遠くない場所に位置する中国国家図書館は旧館と新館とも手狭な感は拭えない。むしろ重厚さばかりが目立ち、これも図書館の原風景だと思ふ他ない。広大な空間と重厚さが醸し出す静謐さには明らかな差異があるようだ。それはそれで如何にも中国の図書館らしいところでもある。学習や研究に没頭できる条件は、書籍雑誌の豊富さや図書サービスの質など様々であろうが、改めて空間の広大さがあることに否応なしに気づかされた。その点から限られた空間を巧く再設定する工夫は不可欠。その点で山口大学の総合図書館では、その工夫が果敢になされていると思う。

空間に関する思いはハルピンの黒竜江省図書館を訪れた折にも痛感した(写真2)。流石に北京大学図書館は別格にしても、中国国家図書館をはじめ、パソコンによる検索はまだ遅れており、カードによる検索が依然として主流である。だが、これも時間の問題であろう。図書



写真2. 中国ハルピンの黒龍江省図書館前で

館の規模の割には職員さんの数も充分でないようだが、日本の大学図書館と同様に館内の整理整頓は行き届いており、何処も凜とした清々しさを感じる。今年も北京大学に出講を要請されているので、その機会に少し時間をとって図書館探訪を楽しもうと思っている。

但し、中国の図書館で抱く共通の思いに釈然としないものも正直抱いている。これまでに北京市の中国国家図書館や大連市立図書館など多くの図書館や档案馆など訪問調査を重ねてきたが、貴重資料に関してはなかなかアクセスが困難であることである。何回も開示請求を繰り返して、図書館職員や関連研究者との交流を重ねて初めて一部閲覧が可能となるのが通例だ。

中国の図書館は資料文献の管理が極めて厳格であることから閲覧には極めて慎重であり、開示に億劫と言うしかない。そのため資料や文献の所在を知りながらも、次回の閲覧を懇願して帰国することも多い。図書館は閲覧・開示を原則とするのが常識だと思っていると時間ばかり要することになる。辛抱・我慢が資料を確保するための要諦である。

それに絡めて私事で恐縮だが、今年復刻出版

することになった私の最初の書物である『総力戦体制研究』(1981年刊)の「あとがき」を久しぶりに読み返した時に、そのような思いを一層感じた。というのは当時の私がこの小品を仕上げるために、実に数多の図書館所蔵の文献資料に依っていたかを記していたからである。当時まだ20歳代後半の院生であった私は大学よりも何処かの図書館に通う日々を送っていた。

その拙著の「あとがき」には、財団法人偕行社図書館、国会図書館現代政治資料室、国立公文書館、文部省国立教育研究所、拓殖大学図書館佐藤文庫、東京大学法学部明治文庫資料室、防衛庁防衛研究所戦史部図書館(現在、防衛省防衛研究所戦史部図書館)、外務省史料館など、私が20代から30代の前半の恐らく多くの時間を過ごした場所が感謝の意を込めて列挙されている。もしこれら図書館で貴重資料や文献の閲覧が不可能であれば、当然ながら私の本も生まれなかったことは間違いない。この本を契機として、図書館や資料館の利用や交流を逞しくしてきた。その結果として、私も研究者として成長し、鍛えてくれる絶対不可欠の場である。それは単なる知的空間と言う以上に、研究成果を獲得するための“命の場”と言っても過言でない。そのような思いを強く抱き続けているだけに中国の図書館事情が変わりゆくことを願わずにはいられない。

最後に、今年3月に台湾の台中市にある東海大学の図書館を訪問した折の印象を付記しておきたい(写真3)。ここでは懇切丁寧に図書館の案内を受けたが、玄関に入って直ぐの一階は学生への徹底したサービスが過剰なまでに展開されていた。玄関の近くに視聴覚のためのブースがいくつか用意され、学生たちがヘッドホーンをつけて音楽や映画を楽しんでおり、その隣には学生たち自身による写真や絵画の展示コーナーが設置されていた。これがラーニング・コモンズの視点から発想されたものか定かでないが、兎に角学生たちの図書館利用を促す機会を懸命に凝らしていることが分かる。職員の方に聞い



写真3. 台湾台中市にある東海大学図書館前で

てみると、学生の図書館利用率が年々低下していることに危機感を抱き、学生が集まる工夫を講じているのだと言う。

規模の大きな大学の割には蔵書数も本大学の半分以上で、職員の数もやや物足りない感じは受けたが、日本の大学図書館以上に明るく開放的な印象を受けた。聞いてみると、やはり図書館へ割り当てられる予算が年々絞り込まれているという。学生利用率も低下傾向に歯止めをかけることと合わせて、この二つが課題とのことである。大学図書館や公共図書館が抱える課題は実に多様だが、図書館の原点を何処に見据えるかという戦略的発想を豊かに持ち合うことが、これら課題克服の前提であることは間違いないようである。

## 山東大学図書館を訪問して

—山口大学スタッフデベロップメント研修—

学術情報課利用者サービス係 永田 一郎

平成22年3月1日から3月12日の12日間、山口大学のスタッフデベロップメント（SD）研修の一環として、山東大学を訪問しました。山東大学は1901年から百年余りの歴史を持つ中国教育部直轄の重点大学であるとともに、本学とは1983年に協定を結んだ学術交流協定校で



山東大学図書館正面

「气有浩然 学无止境」は山東大学の理念であり、「気高い魂があり、知識は限りない」といった意味。

す。学生数が約6万人と、本学の約5倍の規模を持つ大学であるため、単純な比較は出来ませんが、特に印象に残った点を挙げてみたいと思います。

### 1. 利用者支援

山東大学図書館では、各部屋に個別のカウンターを設け、利用者対応の職員を配置しています。これは、館内が一般的な校舎に似て個室建てとなっており、目の届きにくい構造であるためと思われますが、利用者の目線からは、距離的にも感覚的にも職員が近く、簡易なレファレンスや所蔵調査もその場で気軽に受け付けてもらえるという利用面での安心感が窺えました。事故や事件など、非常時でも素早い対応が行われるものと思われます。

一方で、専門的な参考調査を行う部署は、利用者とは離れたフロアに配置され、各種レファ

レンス対応や、ガイダンスの計画から実施、さらに留学生の利用支援に集中して取り組める環境が設けられています。



閲覧室の一つ。利用者の近くにカウンターが備えつけられている。

特に図書館リテラシーの点では、文献検索をメインテーマとした講座がシラバス上の必修科目に挙げられており、大学および図書館として、学生をはじめとした利用者を支援していこうとする姿勢が見受けられました。



電子端末室（学生向けのPC利用室）  
写ってはいないが、この部屋にも2名の職員が常駐している。

## 2. 専門性と語学力

山東大学では、6つの図書館を備えています。各館は職員に専門分野に対する基本的な学習を課しています。中でも医学部では学部生の講義を受講させるなど、職員の専門性を高める教育に熱心です。（ただし、医学部における図書館職員の専門性の高さは中国国内では伝統的なものであり、教員と図書館職員が相互にアプローチをかけあうことが日常的に行われていると

のことです）応接していただいた職員の中には、データベースによる文献検索の著書を執筆された方もおり、主題分野に特化したプロフェッショナルという印象を受けました。

また、2千人を超える留学生のフォローに備えるため、少なくとも英会話においては基本的なコミュニケーションスキルを身につけようと職員間での語学トレーニング研修を実施しているとのことで、その意識の高さを感じました。

山東大学では、90年代に、受入れ留学生の多くを日本人が占めていた時期があり、私の研修をサポートしてくれたレファレンス担当職員の中にも、第二外国語として日本語を習得している方がいました。山東大学での教職員の国外派遣数は昨年度約8百人に上っていますが、実際に多国語を使いこなす職員を目の当たりにすることで、その派遣が結果として大学の實力に反映されていると感じずにはいられませんでした。

## 3. 貴重資料

山東大学は中国国内における重要文献貯蔵地にも指定されており、約2千5百種類の資料を貴重資料として保管しています。古くは宋代、明代の資料も含まれ、その管理は、貴重資料部（特蔵部）の主査一名が常時鍵を管理するという徹底ぶりです。温度・湿度管理は無論のこと、貴重書庫の出入り口を監視カメラで常時監視するとともに、ガス系（ハロゲン化物）消火設備を備えて水損・汚損を防ぐなど、設備も充実しています。

一方で、図書館職員自ら防虫用の小物を手作りし、書架に備え付けるなど、システムだけに頼らない細やかな心配りを感じました。

## 4. まとめとして

全体的な所感としては、国を代表する大型大学として、職員の豊富さを武器にそれぞれのサービスを向上させていこうとする図書館職員の勢いを感じました。

山東大学の中心である文理キャンパスにおいても、中国の飛躍的な経済成長を象徴するように、現在多くの建物が新築・改築中であり、その中には図書館の新館も含まれていました。オープンの際にはその模様を尋ねてみたいと思っています。

繰り返しとなりますが、大学としての規模には開きがあり、図書館だけにしろ単純な比較は行えません。しかしインタビューの中では、利用者に対するマナー啓発の悩みであったり、ガイダンスに係る苦勞であったりと、図書館運営

に関わるさまざまな悩みを聞くことができました。それらは、私達山口大学図書館の職員が日常的に取り組んでいる問題と変わるものではなく、同じ悩みを持った同士なんだ、という思いを強くしました。

山東大学図書館職員の方とは、今後も交流協定校として、お互いに良い刺激を与えつつ成長し合える関係でありたいと握手を交わしました。その思いを大切に、今後の業務へと研修の経験を生かしたいと考えています。

## “ブックリサイクルコーナー” を開設しました！

総合図書館では、今年4月、不要となった本の有効活用を図る場として「ブックリサイクルコーナー」を玄関ロビーに開設しました。コーナーには、(1)重複等の理由により図書館が除籍した資料、(2)寄贈資料のうち図書館で受入れをしないもの、(3)個人的に不要となった参考書等が置いてあります。

図書館の学生協働活動に参加していた卒業生が、後輩のために参考書を置いて行ったことが開設のきっかけですが、今やコーナーの主役は古本にとって代わり、セピア色の光沢を放つ背表紙が堂々と並んでいます。これは、図書館の

狭隘化対策の一環として重複資料の整理を本格的に開始したことによるもので、再利用の方法については売却等も検討しましたが、まずは学生・教職員、そして地域の方々へ無償で提供し、学習や研究に役立てていただくことを目的としました。

コーナーには常時約5百冊の本が並んでおり、頻繁に入れ替わります。最近、大学院生が約百冊の本を持参されたのですが、配架した翌日には、ほとんど持ち帰られていました。自分にとって珠玉の1冊を発見した方の喜びは大きく、日参するリピーターが増えています。

本を出す図書館職員も、自分の選んだ本が持ち帰られると大変嬉しく、必要とされる本は多岐に亘っていることを改めて実感するとともに、選書の目を養う良い機会となっています。

持ち込みも持ち帰りも原則個人の自由としています。どうぞ、気軽にお立ち寄りください。

(利用者サービス係)



コーナーで図書を探す学生

## 宇部市立図書館との相互協力協定締結

山口大学図書館は宇部市立図書館との間で図書館利用に関する相互協力を行うため、平成22年6月23日に、相互協力協定調印式を行いました。

式では、宇部市立図書館の本田俊雄館長と山口大学図書館の瀬瀬厚館長が協定書に調印したのち、本田館長から「専門性や学術性の高い資料を市民に提供できる」など、市民の文化向上への期待が述べられる一方、瀬瀬館長も互いの蔵書を補完するというこの協定の意義を述べられ、さらに「大学の地域貢献の一環でもあり、市民と学生が図書館を行き交うようになれば」と挨拶がありました。

この協定により、この8月からそれぞれの図書館で借りた資料を宇部市立図書館、山口大学図書館（総合図書館、医学部図書館、工学部図書館）のいずれでも返却できる遠隔地返却が可

能となり、また、平成23年からは資料の貸出もできる相互貸借をスタートさせる予定です。

山口大学図書館が市立図書館と相互協力協定を結ぶのは初めてのことであり、よりいっそうの地域の大学としての広がりや連携強化が期待されます。



瀬瀬館長(左側)と本田館長

(学術情報課)

## 沖記念文庫の設置

医学部図書館では、2階開架閲覧室に沖記念文庫を設置しました。

この文庫は、医学部の前身山口県立医科大学の卒業生でもあり、本学と島根医科大学において、長年にわたり解剖学の教育と研究を通して、数多くの医師、医学者を育てられた沖先生「山口大学医学部の学生と教員の勉学・研究・臨床に役立ててほしい」というご厚意と教育に懸ける情熱にお応えすべく設置したものです。

平成22年2月25日には、沖先生をお招きして阿部図書館長(当時)、佐々木副図書館長(当時)等の列席のもと、沖記念文庫お披露目会を催しました。

このコーナーに設置されている図書やAV資料は、利用者のニーズに沿った選書が行われて

いること、また自由に閲覧できるよう配架してあることなどから、予約も続出するほど好評で、自学自習の資料として有効に活用されています。



文庫の前で(左から3番目が沖先生)

(医学情報係)

# 新入生オリエンテーション、ガイダンスの実施

## 1. 新入生オリエンテーション

総合図書館では、平成22年4月2日から8日にかけて、約2千名の全新生を対象に図書館の利用方法や機能を紹介するオリエンテーションを行い、5日間を通して1,847名（参加率91.6%）の参加を得ました。

入学直後ということで、内容はすぐにでも必要になる入退館や貸出、館内の設備、機能などについて館内ツアーを中心にし、案内は職員だけではなく学生協働の学生も先輩として参加しました。

興味深げに説明に聞き入ると同時に、はじめて触れる大学図書館の大きさや資料の多さに感動する様子もうかがえました。



説明に聞き入る新入生

## 2. 図書館利用ガイダンス

### ■総合図書館

総合図書館では、4月から7月にかけて、新生を対象とした図書館利用ガイダンスを行いました。今年度は基礎セミナーや情報リテラシー演習などの授業と連携して全新生を対象に新生向けガイダンスを実施しました。

内容は、図書の検索方法や調べ学習に必要なデータベースの紹介など、学習に必要な資料や情報を入手するための初歩的、かつ実践的な図書館利用方法を中心としています。1年生の図書館利用や学習などの進捗状況に応じて重点を置くポイントを変えながら行うため、これ

からすぐにでも図書館を活用できそう、との声も多く聞かれました。

### H22年度ガイダンス実施回数&参加者数

学部	回数	参加者数
人文学部	6	196
教育学部	8	281
経済学部	9	398
理学部	5	224
医学部	8	222
工学部	12	533
農学部	4	177
計	52	2,031



検索実習風景

### ■医学部図書館

医学部図書館では、保健学科の4年生を対象に、より専門的な文献検索のため医学系データベースの説明を中心とする内容でガイダンスを行いました。

### ■工学部図書館

工学部図書館では、5月25日から6月14日にかけて、学生、教職員を対象に文献検索ガイダンスを行いました。科学技術系のデータベースや蔵書検索、文献取り寄せサービスなど論文作成に役立つ内容となっています。

(情報サービス係)

# 図書館統計 (平成21年度)

## — 基盤統計 —

蔵書数		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
図書(冊)	和書	955,708	100,894	90,295	1,146,897
	洋書	356,146	94,156	62,823	513,125
	計	1,311,854	195,050	153,118	1,660,022
雑誌(冊子種類数)	和雑誌	17,279	2,146	1,449	20,874
	洋雑誌	6,385	2,315	1,758	10,458
	計	23,664	4,461	3,207	31,332

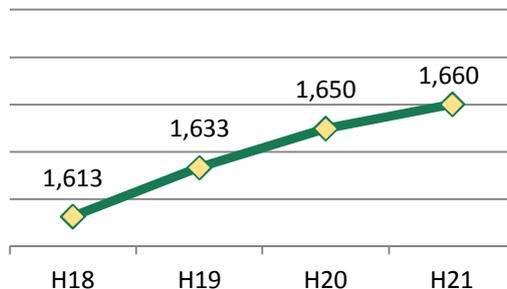
受入数		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
図書受入数(和洋区分)	和書	11,092	1,691	2,247	15,030
	洋書	2,310	516	501	3,327
	計	13,402	2,207	2,748	18,357
図書受入数(受入区分)	購入	10,018	1,468	2,218	13,704
	寄贈	2,894	203	198	3,295
	その他	490	536	332	1,358
	計	13,402	2,207	2,748	18,357
雑誌受入数(冊子和洋別)	和雑誌	2,534	284	243	3,061
	洋雑誌	467	119	92	678
	計	3,001	403	335	3,739
雑誌受入数(冊子受入別)	購入	1,291	229	212	1,732
	寄贈	1,695	174	123	1,992
	その他	15	0	0	15
	計	3,001	403	335	3,739

電子ジャーナル		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
提供数(有料契約分)	国内誌	3,847	0	0	3,847
	国外誌	8,337	24	59	8,420
	計	12,184	24	59	12,267

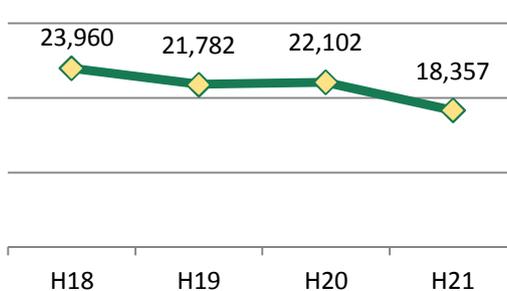
## — 利用統計 —

入館		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
開館日数	平日	235	242	235	—
	土曜	49	50	49	—
	日曜祝日	66	67	63	—
	計	350	359	347	—
入館者数	学生	311,771	121,925	120,916	554,612
	教職員	9,290	4,627	3,833	17,750
	学外者	8,111	3,327	2,416	13,854
	計	329,172	129,879	127,165	586,216

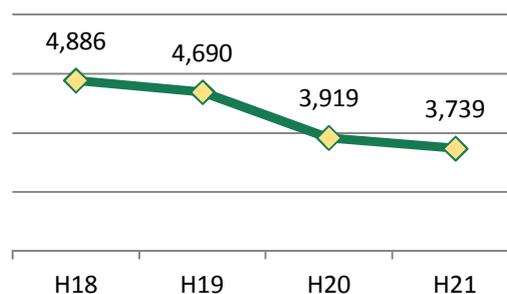
蔵書冊数の推移 (千冊)



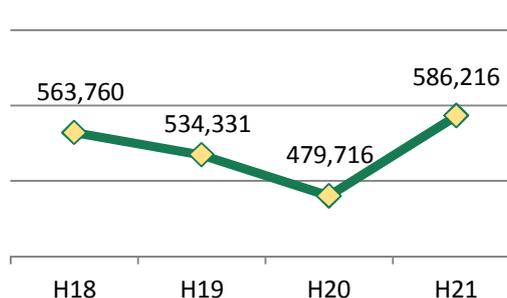
図書受入数の推移



雑誌受入数の推移(冊子)

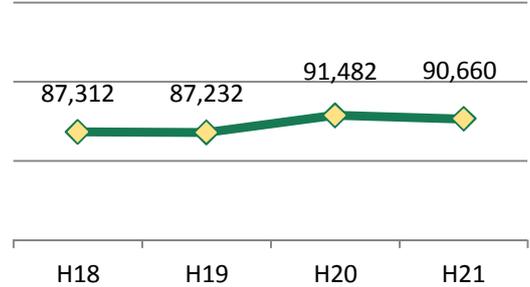


入館者数の推移



貸出		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
貸出冊数	平日	46,710	11,848	20,174	78,732
	土日祝	5,632	1,124	2,269	9,025
	無人	194	2,621	88	2,903
	計	52,536	15,593	22,531	90,660
貸出冊数(身別)	学生	47,302	13,307	20,332	80,941
	教職員	3,970	1,852	1,712	7,534
	学外者	1,264	434	487	2,185
	計	52,536	15,593	22,531	90,660

貸出冊数の推移

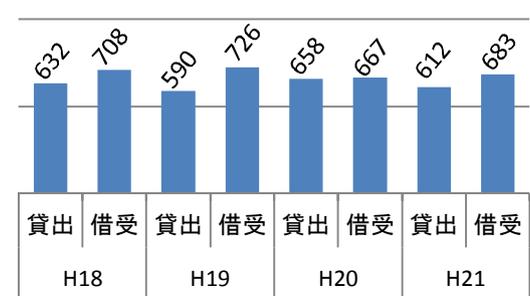


相互協力		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
文献複写(受付件数)	国内大図	1,698	1,012	259	2,969
	国内ほか	248	179	82	509
	国外	0	0	0	0
	計	1,946	1,191	341	3,478
文献複写(依頼件数)	国内大図	1,829	1,200	552	3,581
	国内ほか	52	20	23	95
	国外	6	3	7	16
	計	1,887	1,223	582	3,692
現物貸借(受付件数)	国内大図	409	67	113	589
	国内ほか	19	0	4	23
	国外	0	0	0	0
	計	428	67	117	612
現物貸借(依頼件数)	国内大図	443	48	130	621
	国内ほか	60	0	2	62
	国外	0	0	0	0
	計	503	48	132	683

文献複写件数の推移



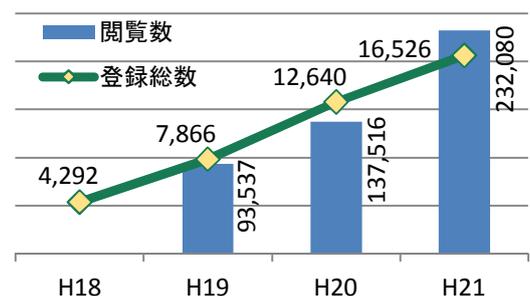
現物貸借件数の推移



リポジトリ		H18	H19	H20	H21	計
閲覧数	閲覧数	—	93,537	137,516	232,080	463,133
登録数	登録数※	4,292	3,574	4,774	3,886	16,526

※登録数は年度毎のメタデータ登録数

リポジトリ登録総数と閲覧数



(データベース紹介)

# 日経 NEEDS-FinancialQUEST

NEEDS (Nikkei Economic Electronic Databank System)は、日経グループの国内外取材網とデータ収集ネットワークを最大限に活かして、経済、金融、株式・債券、企業・財務、地域、ニュース、人事などの幅広い分野の経済データを蓄積し、Web や CD-ROM や DVD など、各種メディアを通じて提供する総合経済データベース・サービスです。

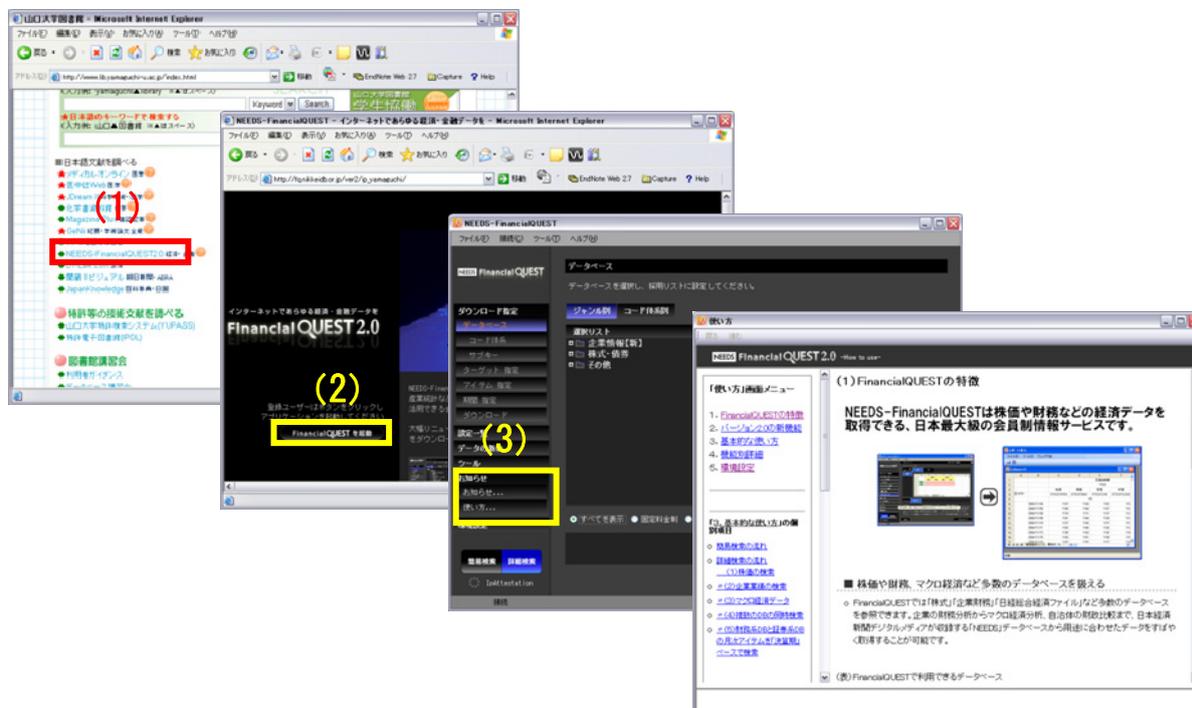
FinancialQUEST は、NEEDS に収録されている膨大な数値データをインターネット経由で簡単に検索、スピーディーに手元の Windows PC にダ

ウンロードできるオンデマンド型サービスです。本学では、2010年4月より、NEEDS で提供されている経済データのうち、マイクロ系データ（企業財務、セグメント情報、業績予想などの「企業情報」及び平均株価や指数、上場債券などの「株式・債券情報」）を利用できます。

ご利用方法については、下記のとおり利用マニュアルが用意されています。また、利用講習会を予定していますので希望者はご参加ください。

## 起動方法とマニュアル

- (1) 図書館ホームページから NEEDS-FinancialQUEST のトップ画面を表示
- (2) [FinancialQUEST を起動する]をクリック ※
- (3) 利用マニュアルは、画面左側の[お知らせ] → [使い方]からご利用ください。



※ 図書館やメディア基盤センターの設置パソコンにおいて、FinancialQUEST を起動した場合、ID とパスワードを入力要求されることがあります。その際の対処方法については、総合図書館情報サービス係(内線 5183)へお問い合わせください。

## 本学関係教員著作寄贈図書

寄贈者（寄贈順）	書名等
八木充（名誉教授）	日本古代出土木簡の研究 / 八木充著. - 塙書房, 2009.5.
小谷典子（人文学部）	炭住の人と社会：持続と変容 / 三浦典子[著]. - [山口大学人文学部社会学研究室], [1981].
小谷典子（人文学部）	やまぐち社会学者のひとりごと / おたにのりこ. - [小谷典子], 2010.2.
小谷典子（人文学部）	企業の社会貢献と現代アートのまちづくり / 三浦典子[著]. - 溪水社, 2010.3.
申荷麗（人文学部）	自由教育在美国 / 松井范惇著; 申荷麗, 申荷永訳. - 广东教育出版社, 2009.12.
柏木芳美（経済学部）	経済数学I / 柏木芳美[著]. - 第4版. - 柏木芳美, [2010.3].
羽生正宗（経済学部）	社会福祉マネジメント戦略：ガバナンスの確立と財務基盤強化のために / 羽生正宗著. - 大蔵財務協会, 2008.12.
朝水宗彦（経済学部）	持続可能な開発と日豪関係 / 朝水宗彦著. - くんぷる, 2004.9.
朝水宗彦（経済学部）	開発と環境保護の国際比較：観光政策の視点から / 朝水宗彦著. - 嵯峨野書院, 2007.10.
中内伸光（理学部）	ろんりと集合 / 中内伸光著. - 日本評論社, 2009.9.
広中平祐（元学長）	現代数理科学事典 / 広中平祐編集委員会代表. - 第2版. - 丸善, 2009.12.

## 平成22年度図書館関係委員会名簿

### ●図書館専門委員会

瀨 瀨 厚（図書館長）

小河原加久治  
（大学情報副機構長）

松野浩嗣  
（大学情報副機構長）

富平美波（副館長  
（総合図書館担当））

小林 誠（副館長  
（医学部図書館担当））

山本修一（副館長  
（工学部図書館担当））

柏木寧子（人文学部）

村上林造（教育学部）

陳 建平（経済学部）

三角修己（理学部）

小林 淳（農学部）

王 躍

（メディア基盤センター）

田畑直彦

（埋蔵文化財資料館）

牧村正史（情報環境部長）

吉光紀行（学術情報課長）

亀井耕治（情報推進課長）

### ●総合図書館部会

富平美波（副館長

（総合図書館担当））

柏木寧子（人文学部）

村上林造（教育学部）

陳 建平（経済学部）

三角修己（理学部）

小林 淳（農学部）

吉光紀行（学術情報課長）

### ●医学部図書館部会

小林 誠（副館長

（医学部図書館担当））

池田英二（医学部）

松山豪泰（医学部）

山根俊恵（医学部）

西垣昇治（医学情報係長）

### ●工学部図書館部会

山本修一（副館長

（工学部図書館担当））

陳 献（工学部）

鈴木春菜（工学部）

山吹一大（工学部）

甲斐綾子（工学部）

藤田悠介（工学部）

山本幸子（工学部）

小渊茂寿（工学部）

牧野 哲（工学部）

向山尚志（技術経営研究科）

守永盛志（工学情報係長）

## ◆会議

## 【学外】

21. 12. 3-4 デジタルリポジトリ連合国際会議 2009 (於 東京工業大学)
21. 12. 4 平成 21 年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議 (於 岡山大学)
22. 1. 29 創立百年記念事業委員会 (於 山口県立山口図書館)
22. 2. 10 平成 21 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会 (於 岡山大学)
22. 4. 15 第 58 回中国四国地区大学図書館協議会総会 (於 あわぎんホール)
22. 4. 16 第 37 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (於 あわぎんホール)
22. 5. 18 平成 22 年度山口県図書館協会選挙管理委員会 (於 山口県立山口図書館)
22. 6. 8 平成 22 年度山口県図書館協会理事会 (於 山口県立山口図書館)
22. 6. 9 3 館協定担当者会議 (於 山口県立山口図書館)
22. 6. 18 第 57 回国立大学図書館協会総会 (於 札幌パークホテル)
22. 6. 19 第 2 回国立大学図書館協会館長フォーラム (於 札幌パークホテル)
22. 5. 18 第 36 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (於 くにびきメッセ)

## 【学内】

22. 1. 12 平成 21 年度第 4 回図書館専門委員会
22. 2. 18 平成 21 年度第 2 回総合図書館部会
22. 3. 11 平成 21 年度第 5 回図書館専門委員会
22. 3. 19 平成 21 年度第 2 回医学部図書館部会
22. 3. 28 平成 21 年度第 3 回総合図書館部会
22. 6. 2 平成 22 年度第 1 回図書館専門委員会
22. 6. 2 平成 22 年度第 1 回総合図書館部会
22. 6. 16 平成 22 年度第 1 回工学部図書館部会
22. 6. 16 平成 22 年度第 1 回山口大学所蔵学術資産継承検討委員会
22. 6. 22 平成 22 年度第 1 回医学部図書館部会

## ◆研修

21. 12. 2-4 NACSIS-CAT/ILL ワークショップ  
参加者：田中 俊二
22. 2. 28-3. 12 平成 21 年度山口大学海外派遣 SD 研修  
参加者：永田 一朗
22. 5. 10-13 平成 22 年度山口大学新規採用職員研修  
参加者：日高 友江, 田中 凡子
22. 6. 19 第 6 回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー  
参加者：牧村 正史, 吉光 紀行

## ◆人事

22. 1. 1  
配置換
- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 情報環境部学術情報課医学情報係主任    | 杉原 繁子 |
| (情報環境部学術情報課工学情報係主任)  |       |
| 情報環境部学術情報課利用者サービス係   | 永田 一朗 |
| (情報環境部学術情報課医学情報係)    |       |
| 情報環境部学術情報課工学情報係      | 川上 誠  |
| (情報環境部学術情報課利用者サービス係) |       |
22. 3. 31  
退職
- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 図書館長              | 阿部 憲孝 |
| 情報環境部学術情報課長       | 板谷 茂  |
| (島根大学学術国際部図書情報課長) |       |
- 任期満了
- |                   |        |
|-------------------|--------|
| 図書館副館長 (総合図書館担当)  | 根ヶ山 徹  |
| 図書館副館長 (医学部図書館担当) | 佐々木 功典 |
22. 4. 1  
併任
- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 図書館長              | 額 厚   |
| 図書館副館長 (総合図書館担当)  | 富平 美波 |
| 図書館副館長 (医学部図書館担当) | 小林 誠  |
- 配置換
- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 総務部人事課人事総務係主任       | 石川 泰啓 |
| (情報環境部学術情報課医学情報係主任) |       |

## 編集後記

今回は、中国の図書館をいくつか紹介していただきました。いずれも長い歴史のある図書館かと思えます。さて、山口大学は、1815 年に創設された山口講堂から起算し、2015 年には創基 200 周年を迎えるという長い歴史があります。図書館では 2015 年に向け、館内の常設展示コーナーでこの 200 年の歴史を振り返ります。今年はその第 1 期として、山口講堂創設から 1870 年の山口中学校開校までの歴史を辿ります。山口講堂はどこにあったのか。山口講堂を創設した上田鳳陽先生ってどんな人物だったのか。山口大学で学ぶ皆さんは、是非常設展示コーナーにお立ち寄りください。(A)

山口大学図書館報 「Library News」 No.81

2010年7月31日発行

<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/lib-nws/>

編集・発行 山口大学図書館

〒753-8511 山口市吉田1677-1

TEL. (083)-933-5183 FAX. (083)-933-5186